

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の小児がん医療・支援の質を評価する新たな指標開発のための研究

分担研究報告書

分担課題名：中国・四国ブロックにおける小児がん連携病院 QI

研究分担者 川口浩史 広島大学大学院医系科学研究科小児科学 准教授

研究要旨

中国・四国ブロックにおける小児がん連携病院の QI 算定を計画した。指標検討ワーキンググループにおいて病院基本情報、診療情報からなる 21 項目の小児がん連携病院 QI を策定した。本ブロックのカテゴリー1に属する全 15 施設が本研究に参加することとなった。次年度より算定する QI を施設間で比較することにより、充実した医療体制の構築や診療内容の向上に繋がることが期待される。

A. 研究目的

2014年より小児がん診療に関する医療の質を表す指標（Quality Indicator: QI）を全国の小児がん拠点病院において算定してきた。今回、小児がん拠点病院に加えて、新たに中国・四国ブロックを含む全国の小児がん連携病院においても QI を算定することを計画した。

各施設で算定された QI を集計・比較することで小児がん医療提供体制の質の評価を行い、医療体制を充実させていくことを目的としている。

B. 研究方法

本研究では、指標検討ワーキンググループを立ち上げ、拠点病院 QI をベースとして、小児がん連携病院についての 21

項目からなる新たな指標（小児がん連携病院 QI）を策定する。本研究では、各小児がん連携病院において策定した小児がん連携病院 QI を算定し、診療施設ごとの小児がん医療の現状を比較・集計することによって小児がん医療提供体制の質の評価を行う。

中国・四国ブロックにおける小児がん連携病院 QI の集計に関しては広島大学病院が担当し、小児がん中央機関に集計データを提出する。小児がん中央機関は、全国のデータを解析し、小児がん連携病院に報告する。

本研究は個人情報を含まない既存資料のみを用いた観察研究であり、研究対象者からインフォームド・コンセントを受けることを必ずしも要しない。本研究実

施に関する情報をポスターで公開するとともに各研究施設においても情報公開を行い、研究参加の拒否の自由について保障する。本多施設共同研究の倫理審査については、研究主施設である国立成育医療研究センターの倫理審査委員会での一括審査もしくは各施設での倫理審査での承認を得ることとする。また、結果の公表は、施設名を明示せずに行う。

C. 研究結果

小児がん拠点病院の医師・診療情報管理士等からなる指標検討ワーキンググループにおいて病院基本情報、診療情報からなる 21 項目の小児がん連携病院 QI を策定した。

中国・四国ブロックにおいてはカテゴリー1（地域の小児がん診療を行う病院）に属する全 15 施設が本研究に参加することとなり、研究主施設の倫理審査委員会での一括審査による承認を得た。

次年度の連携病院 QI 算定にあたり、中国・四国ブロックを含む全国の連携病院を対象として説明会を開催した。

D. 考察

これまで小児がん拠点病院において QI 算定を継続的に行い、施設間における指標の比較や経時的な指標の推移を確認してきた。今回の研究では全国 100 余りの小児がん連携病院を対象として QI 算定を行い、小児がん拠点病院と同様に小児がん医療の質を評価することを目的とした。

連携病院 QI では病院基本情報、診療情報からなる 21 指標を策定した。この

指標には小児がん拠点病院では達成できたとされた指標や拠点病院との連携状況についての指標も含まれている。

中国・四国ブロックにおいてはカテゴリー1に属する全施設が本研究に参加することになった。中国・四国ブロックは一施設あたりの症例数が少なく、医療スタッフも限られている施設が多いため、算定した QI を施設間で比較することにより、充実した医療体制の構築や診療内容の向上に繋がることが期待される。

E. 結論

中国・四国ブロックではカテゴリー1に属する全施設が本研究に参加することになった。次年度より算定する QI を施設間で比較することにより、充実した医療体制の構築や診療内容の向上に繋がることを期待される。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Matsumura R, Mochizuki S, Maruyama N, Morishita Y, Kawaguchi H, Okada S, Tsumura M, Kaji S, Shimizu J, Shimada A, Kobayashi M. Bone marrow transplantation from a human leukocyte antigen-mismatched unrelated donor in a case with C1q deficiency associated with refractory systemic lupus

- erythematosus. *Int J Hematol.* 113: 302-307, 2021.
2. Goda S, Hayakawa S, Karakawa S, Okada S, Kawaguchi H, Kobayashi M. Possible involvement of regulatory T cell abnormalities and variational usage of TCR repertoire in children with autoimmune neutropenia. *Clin Exp Immunol.*204: 1-13, 2021.
 3. Yoshida N, Takahashi Y, Yabe H, Kobayashi R, Watanabe K, Kudo K, Yabe M, Miyamura T, Koh K, Kawaguchi H, Goto H, Fujita N, Okada K, Okamoto Y, Kato K, Inoue M, Suzuki R, Atsuta Y, Kojima S; Pediatric Aplastic Anemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Conditioning regimen for allogeneic bone marrow transplantation in children with acquired bone marrow failure: fludarabine/melphalan vs. fludarabine/cyclophosphamide. *Bone Marrow Transplant.* 55: 1272-1281, 2020.
 4. Kato M, Nakasone H, Nakano N, Fuji S, Shinohara A, Yokoyama H, Sakashita K, Hori T, Takahashi S, Nara M, Kanda Y, Mori T, Takita J, Kawaguchi H, Kawakita T, Ichinohe T, Fukuda T, Atsuta Y, Ogata M; Transplantation Complication Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Clinical course of autologous recovery with chromosomal abnormalities after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Bone Marrow Transplant.* 55: 1023-1028, 2020.
 5. Shimomura M, Doi T, Nishimura S, Imanaka Y, Karakawa S, Okada S, Kawaguchi H, Kobayashi M. Successful allogeneic bone marrow transplantation using immunosuppressive conditioning regimen for a patient with red blood cell transfusiondependent pyruvate kinase deficiency anemia. *Hematol Rep.*12: 8305, 2020.
 6. Nakamura-Utsunomiya A, Tsumura M, Okada S, Kawaguchi H, Kobayashi M. Downregulation of endothelial nitric oxide synthase (eNOS) and endothelin-1 (ET-1) in a co-culture system with human stimulated X-linked CGD neutrophils. *PLoS One.*15: e0230665, 2020.
- 著書
1. 川口浩史：小児血液・腫瘍性疾患とインフォームドコンセント。今日の小児治療指針。第17版。医学書院，東京，583，2020
 2. 学会発表
 1. 唐川修平、川口浩史、岡田賢ほか：広島大学病院での遠隔授業を中心とした高校教育への取り組み。第62回小児

血液・がん学会 2020年11月20日-
22日 福島

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし